

◎ブッシュ米大統領が「聖書と進化論は矛盾しない」と語る

【C J C = 東京】任期切れ間近のジョージ・W・ブッシュ米大統領が12月8日、ABCテレビのインタビューで、聖書は「1語1句正しいわけではないだろう」との見解を示し、そのうえで神が世界を創造したとの考えと進化論は矛盾しないと語った。

A F P通信によると、大統領は、聖書の考え方と進化論は「どちらも矛盾しないと思う」と述べた。さらに「こんな話をするつもりはなかったのに」と言いながらも「進化論は興味深いテーマだ。進化論では生命の神秘を完全に解明できないと思う」として、その上で「神が地球を、そして世界を創造したと思っている。世界の創造というのは非常に神秘的で、それゆえ全能の力をもつ何者かの関与が必要なのではと思う」と述べた。

◎スウェーデン 同性婚法案の提出めぐり予定変更

【GayJapanNews, 2008/12/16】スウェーデンの連立与党（穏健党、中央党、自由党、キリスト教民主党）が同性婚法案の提出をめぐり揺れている。先月13日、Gay and Lesbian Times が伝えた。

フレドリック・ラインフェルト首相（穏健党）は先月5日、公共放送のラジオ番組に出演し「連立政党間で共通の理解ができていない」と述べ、「多数の人がどのように感じているか（賛成している）という事実はあるが、このような問題について異なる意見があるということは尊重する」とした。

ラインフェルト政権は法案を内閣提案したい考えだったが、連立与党内で唯一法案に反対しているキリスト教民主党が議員提案を要求。同政権は、同党の求めに従う方針を決めた。法案をめぐっては昨年6月、穏健党議員8人が政府に対し、公式に法案支持を表明するよう求め、さもなければ造反するとしてラインフェルト内閣を揺るがすさわぎがあった。

スウェーデンのLGBTウェブサイト QX.se の編集者ジョン・ヴォスさんは「来年の上半期中には『ジェンダー・ニュートラル』な婚姻法が成立するだろう」と話している。

現在同性婚はベルギー、オランダ、スペイン、カナダ、南アフリカ、アメリカ合衆国のコネチカット州とマサチューセッツ州で認められており、来年1月にはノルウェーでも法律が施行する。

■ <http://gayjapannews.com/news2008/news141.htm>